

西方地区 市政懇談会

日時 平成 19年 8月 9日 19時から

会場 西方地区センター

参加者数 40人

懇談 (質疑応答)

西方地区より

菊川運動公園から、広い道路が何時頃出来るか。掛川方面への計画、年度は。掛川信用金庫の所の交差点に歩道橋を設置して欲しい。学生が横断するに危険。

環境資源ギャラリーへの大東・大須賀分のゴミ搬入の件。その後の状況は。沢田、公文名地区の茶園に有害物質が流れないか心配。

旭テック東側のアンダーについて、アンダー完成後、国1など北に向かったの計画は。

西方保育園の園舎の耐震工事について、工事中に地区センターを貸して欲しいとの申出があった。95名の保育園児がいる。

西方川改修計画の進捗状況、新しい川の計画、今の川はどうなるか。

聖苑の改築計画について、改築の理由、規模、事業年次などは。

掛川浜岡線、掛川市から菊川市へ向かって走ってくる車が、田ヶ谷のアンダーを通る。「すまだ」さんまで渋滞する。駿河屋さんの4m道路を、スピードを上げて走る車があり、事故が2度あった。

市長

運動公園からつながる道路はどうなるかですが、現在、中小家畜試験場から西へ、掛川市の東環状線につなげるということで、掛川市と協議をしています。菊川市にとっても重要な道路だと思っております。都市計画決定の見直しや農業部局、補助金も入っていますので、関係部署により、道路整備計画を立てていきます。線の整備、面の整備、土地利用を庁内で検討してまいります。

次に掛信の信号機のところ、駅に向かう歩道橋がないので危険とのことですが、私も通勤で通っていますが歩道橋までは考えていませんでした。歩道橋がつけば信号がなくなります。市民の皆さんの色々な声を聞いて、とりあえず駅へ向かう左折について県に要望していきたいと思っております。

環境資源ギャラリーにつきましては、西方地区の皆さんに、ご苦勞をおかけしてお

ります。昨年10月に掛川市長より、今年4月から大東・大須賀のゴミを受け入れて欲しいとの要請がありました。私は、地元の皆さんの意見、議会の意見をお聞きするいとともに、施設の能力があるのか、これからのゴミの状況など物理的な分析が必要でそれがはっきりしないと難しい回答しました。環境資源ギャラリーが供用を開始して、まだ1年しか経っていませんので分析もできません。先週また、掛川市よりどうですかとの要請がありました。今後20年使う施設でありますので、今後もゴミ処理ができるかなど、黒田議員さんが委員長の西方環境対策委員会に、これまでの分析結果やどのような経緯かなどの中間報告をその場でさせていただきます。一般質問、議案質疑等を議会でもいただいています。分析結果が出たら、まず地元の皆さんにお知らせいたします。

次に朝日線のアンダーの関係ですが、まず、朝日線アンダーの整備を優先していきます。320m、三十数億円かかる大きな事業でありまして、市としても初めてJRの下をくぐる事業です。このまちづくり交付金事業は5年間で完成させなければならなりませんので、今、全力で二十数億円をかけて、函体の工事を進めています。30億円掛けますので、南北間交通の利便性、駅北側の利便性が高まるものと考えております。国1への道路整備をするか、あるいは面的に駅北を考えることは重要なことでありますので、駅北推進協議会の方と連携を図るなか、朝日線アンダーが完成する前には、北部、駅北の開発について方向性を持ちたいと考えております。

保育園の耐震化は、子育て支援で打ち出しました。昨年度は双葉、今年は河城、西方保育園の耐震計画が入っています。西方地区の子供さんをお預かりしているわけでありまして、地区のみなさんのご協力をいただき、連携しながら子供さんを安心して預けていただけるような、体制作りをこれから行政も入りまして考えていきたいと思っております。また、実施設計が決まっていないということで聞いていますので、この日程が決まりましたら、また、保育園と自治会、保護者の皆さんとか行政とかが連携を取って進めていかなければならないと思っております。スケジュールを確認しながら進めたいと思っております。友田も同じような内容になるかと思っております。双葉保育園さんはある企業の建物を借りたとも聞いています。行政としても出来る限りの支援はさせていただきますと考えております。

西方川の改修についてであります。おかげさまと申しますか、やっとと申しますか、県も改修計画に乗り出しまして、地域の皆さんと進められておりまして、改修計画図が策定されてまいりました。自治会の皆さん、改修促進委員会の皆さんにはご協力をいただき感謝しているところであります。先ほど話をしました、JRの下をくぐるのに二十数億円かかるのと同じように、この西方川におきましても大変大掛かりな工事になると思っております。JRとしましても慎重に、県と協議をしたいということがあって、平成20年からJRと県との協議が始まると聞いております。それから2、3年は

工事がかかるのではないかと聞いています。今後、県と協議するなかで、これからどのような計画になって行くかということは、担当課の方から西方川改修促進委員会の皆さんや自治会の皆さんに、ご報告させていただきたいと思っております。

次に菊川市のみならず、掛川市もお世話になっております、東遠地区聖苑組合の施設の件であります。今日も菊川市役所において、この組合の議会がありました。そのなかで、私の方から、これからの予定について少しお話をさせていただきました。聖苑ができて29年が経過しております。長い間、西方地区のご理解をいただくなかで、順調に運営ができていることに、改めてお礼を申し上げます。ここ数年、火葬炉が老朽化しまして、毎年のように改修をしております。安定運転をするために、毎年炉の改修をしていることもありまして、中長期計画のなかで菊川市、掛川市におきましては、建物の改築をしたいということ、3、4年ほど前に提案をさせていただきました。地元の皆さんにお願いをしているところであります。拡張したいということで、地権者の皆さんや財産区の皆さんに、ご無理をお願いして協力をいただいているわけでありまして、菊川市におきましてもなくてはならない施設でありますので、是非、これからもご理解、ご協力を賜りたいと思います。改築後の施設規模であります。現在は「い」「ろ」「は」「に」「ほ」の5号炉がありまして、汚物炉が1基あります。計画をしているものの基本設計ですが、これを8基にしましてより皆様方に利用していただける、或いは環境に配慮したものを作りたいと思っております。地域の皆さんのご協力、ご理解なくして出来ないわけでありまして、21年位から造成工事に着手しまして、4年後の25年には供用開始を図りたいと思っております。本来は30年位の耐用年数ですが、33、34年経とうかと思っておりますが、平成25年を目処に、供用開始をしたいと思っております。西方地区の皆さんには、工事のみならず色々と聖苑につきましては、ご迷惑、ご理解をいただかなくてはなりません。どうぞよろしくお願い致します。

次に掛川から来まして、東に向かって行きまして西方運動公園に曲がる場所の右折帯の設置であります。各地から渋滞とか、交通安全の要望とか或いは、交通の利便性とか、色々な要望が各地から出てきています。また、菊川市の道路状況が、ここ1、2年変わってきてまして、車の動向も南北、東西と変わってきておりますので、交通量とか地元自治会の皆さんの安全、特に子供の通学路対策等に配慮をしながら、これから交通、道路の見直しをしていきたいと思っております。県道の右折帯を作るということは、なかなかの大工事です。県の方には交通渋滞の解消の方法があるかどうか、西方地区の皆さんから、このようなご意見があったと、県に話したいと思っております。

堀田 男性

まず、今年の市政懇談会にお礼を言いたい。昨年も出させていただいたが、レジメの内容が全く変わった、わかりやすくなった。説明の内容も随分変わったなあと感じます。昨

年の市政懇談会の議事録をインターネットで読みさせていただきました。私の質問もきちっと理解できるように出ていました。また、他の地区を見てみますと、市政懇談会の内容が各地の公共事業、それに対する地権者のこういう計画があるよという説明で、どこの地区も終わっているような、そんな内容だったと記憶していますが、間違っていたらごめんなさい。そういうなかで、昨年も質問をしましたが、公債費、250億位と思っていましたが、先程の説明で190億にするんだという説明がありました。なぜこんな質問をするかと言いますと、夕張の問題から新聞あるいはテレビの報道で公債費の問題が取り上げる場面が非常に多くなりました。自然とそういう動きに耳が傾いたのですが、ある新聞で静岡県の市町村の欄がありました。そのなかで県下で熱海市が一番良くない予備軍の第一位、菊川市が3番目か4番目、その記事の内容が菊川市が危ない、そういう内容でありました。それから、テレビで公債費が多い市あるいは町の取り組みの紹介があります。そういうなかで、広島市だったと思いましたが、市の財政のなかで特別のチームを作って、行政のなかでやっていることを全部チェックする、それは本当に必要なのか、なぜ必要なのか、継続事業も取止める、必要なものだけやるんだ、そうでないと第二の夕張に次になるのは広島市なんだというような番組でした。そこで2つほど質問をします。190億というのは適正な負債の金額なのか、実際の菊川の収入から見て、本当にどの位が適正なのか。適正化に努力するならば、何年位かかるのか。また、広島市のように市のやっている、色々なものもチェック体制が行われているかということを知りたい。

市長

借金が有る方が良いか、無い方が良いかと言えば、無い方が良いわけです。菊川市は今、上位から3番目と言われましたが、それは実質公債費比率と言いまして、借金が18.8%あります。適正化計画というのは、国は18%が黄色信号だよと言っていますので、それを17%台にしようと今取り組んでいます。ひとつの目標が17%台に持っていくということであります。ひとつの率で言えばそういうことになりませんが、先程申し上げましたように、率を下げようとすれば、市民サービスを低下させれば、出るものが少なくなり、それを返済に充てることができますが、しかしそれでは、今までの福祉行政とか、社会資本整備とか、どうしてもやらなければならない事業がありますから、それは借金をしてでもやらなければいけないということは、お解りいただきたいと思えます。例えば夏にエアコンが壊れて団扇で我慢するか、今年はこれくらい借金をするかとか、車が壊れたけど、少し借金して車を買おうとか、どうしても必要なもの、贅沢的なものがありますが、今、借金を抑えようとしています。今年は前年の借金より二十数パーセント、借金を抑えています。一方でそれだけ住民サービスが低下するということですから、急激にやらないで計画を立てて段階的に、年間15億円以上の借金をするのは止めましょう。そのために、議員の皆さんにも、ご理解いただ

いて、この事業は我慢しましょうとか、あるいは、これはこういうふうにしていこうとか、私達が提案して、それを議会の皆さん市民の皆さんにご理解いただいて。また、5年後には減債基金と言いまして、借金を返す積み立てをして返しましょうとやっています。18%以下にはなかなかありませんが、それに向けてやっています。もし今のままでやっていきますと、18.8%が19%になり、20%になり、21%になる可能性があります。それをそうさせないように、今の目標は17%台にしようと今取組んでおります。そのためには、無駄なものには使わないということで、行政評価システムという制度を合併の時に取り入れまして、補助金に対してとか、事業に対して、本当にこの投資額が適正に使われているか、あるいは、この補助金が活かされた補助金なのかということ、庁舎内部でチェックをしながら今やっております。その成果が出てくるのが、多分、3年目の今年か、来年には出てくると思います。お話がありましたように、借金を減らして、市民サービスが向上するように、一生懸命がんばっています。

堀田 男性 (再質問)

子育て支援のなかで、テレビの放送などで、小学生以下あるいは成人になるまで医療費がタダというような市町村があるようなことを聞いておりますが、子育てに対して市として何か計画はありますか。また、もし他に一人目がいくら、二人目がいくらと言うような制度、月1万円、5千円とかくれるような制度があると聞きますが、分りましたら教えて下さい。

市長

色々な制度があります。例えば医療費につきましては、就学前、小学校に上がるまでの子供さんに対して、市として支援をし、基本的には免除ということになっています。また就園奨励費により、子供さんがいるお宅に対しての補助金があったり、私立幼稚園の建設費に対しても、市として補助するとか、色々な制度があります。給食費を無料にするとか、20歳までの医療費を無料にするとかというものもありえますが、そうすると先程の18.8%の公債費比率が、25%までに上がってしまうということになりますので、その辺はご理解をいただきたいと思います。